

韓国・台湾・東南アジア専門ランドオペレーター



# ハンドメイドツアー

手作り旅行、企画づくりからお手伝いします！！

韓国・台湾・中国・香港・マカオ・フィリピン・タイ・ベトナム・カンボジア・ラオス・マレーシア・シンガポール・ミャンマー

東京都知事登録旅行業第3-3609号・OTOA正会員

株式会社 HMC ・ ハンドメイドツアー

TEL.03-3831-4295/FAX. 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東 4-30-8

宮地ビル本館7F

営業時間 月～金 9:30～18:30 (土日祝休業)

ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>

## 樹齢1,000年のヒノキが魅せる神秘の世界 阿里山

イチオシ  
台湾

南台湾の嘉義県に位置する阿里山は、一つの山の名前ではなく、祝山、大塔山、塔山など18の高山一帯のことを指しています。最高峰は大塔山で標高2,663m。

阿里山は「日の出、夕霧、雲海、鉄道、神木」の五つ景観が有名で台湾有数の観光地となっています。

日本統治時代に良質な台湾ヒノキで注目を浴び、木材を運ぶために森林鉄道が敷設されました。

山頂近くの阿里山駅周辺は標高2,000mを超え、樹齢1,000年を超える台湾ヒノキやベニヒノキ群が神秘的な光景を織りなしています。

### 阿里山観光の気候とシーズン

阿里山は高山地帯となるため、平野部より気温は低く、台湾では避暑地となっています。真夏の日中でも最高20～25度程度、朝晩は15度以下になります。11月～3月は日本と同様の冬物で、冬場の日の出の鑑賞にはダウンもほしいところです。積雪はごくまれです。

また年間通じて雨も多く、傘やレインコートなど雨具も必要です。特に5～9月は梅雨や台風のため雨の日も多くなります。

春：3月～4月頃 桜の時期

夏：7～9月 避暑（雨も多い）

秋：10～12月 紅葉（イチョウ、カエデ）

冬：1～2月 雲鑑賞



(写真:台湾観光協会)

阿里山の  
主な見どころを  
ご紹介！！



地図出典: 台湾観光局「嘉義県」観光マップ。地名は補足。

## 阿里山森林鉄道

阿里山森林鉄道は、インドのダーズリン鉄道、チリ〜アルゼンチンを通るアンデス山鉄道と並んで、世界三大登山鉄道に数えられ、鉄道マニアならずとも、とても人気の列車となっております。

元は、日本統治時代、台湾ヒノキを運ぶために敷設されたのが阿里山森林鉄道。元々の起点駅は北門駅で、北門駅そばに木造の旧駅舎も残されています。

嘉義から住宅街を抜け、徐々に山中へ。窓からの景色が様々に変化していくのが見られます。最初はバナナの木や高いヤシの木の南国の様な景色。登るにつれ、竹林、茶畑、針葉樹へと変化を見せながら、中腹の奮起湖駅に到着となります。奮起湖駅は元々上下線がすれ違いう駅で、駅弁で有名です。

現在は台風被害により、奮起湖駅から先、阿里山駅手前の神木駅まで運休中。嘉義-奮起湖間の平日1往復、土曜2往復、日曜3往復のみの運行となっております。

また阿里山駅を起点に、神木、沼平へは10:00〜16:00の間におよそ30分間隔（12時台を除く）で運行されています。祝山線は早朝、日の出の時間に合わせてのみ運行されています。



(写真:台湾観光協会)

## 阿里山森林遊楽区

阿里山森林遊楽区は、標高2,000mの神木〜阿里山〜沼平駅周辺付近。阿里山では、平地から高度が上がるにつれ、亜熱帯の竹林から杉林へと変化していきますが、森林遊楽区付近になると樹齢1,000年を越す台湾ヒノキが自生しています。

### 巨木群棧道〜檜の森が織りなす神秘の世界

約600メートルの木製棧道には、平均樹齢1000年を超えたの台湾ヒノキや、ベニヒノキの巨木が群生しています。天気の良い日が望ましいですが、雨の森林は、また独特の味わいがあります。



### 三代木 〜三代のヒノキが織りなす生命のアート



長い年月を証する苔類とともに不思議な造形美を生み出しながら、生命の神秘を表現する、まさに自然界のアートのようなようです

### 神木駅と初代神木遺跡



神木駅は、森林鉄道本線の終着「阿里山駅」1つ手前の駅。現在、奮起湖-神木駅間が不通のため、神木線して阿里山-神木駅間で運行されています。線路沿いに歩くこともできます。

## 阿里山で泊まるなら「阿里山賓館」



1913年に作られ、日本の台湾総督や蒋介石も利用した由緒あるホテルで、標高2274m、台湾内のホテルでは最高地点に位置しています。昔からある歴史館（本館）と、新たに作られた新館とがあります。屋上からの眺めも素敵です。

値は少し張りますが、阿里山に来たら、ぜひ泊まりたいホテルです。

## 阿里山（祝山）からの日の出

阿里山観光での定番の1つになっているのが、祝山からの日の出。

日の出時間は、夏至の時期でおよそ朝5時頃～冬至の頃は朝7時頃。まだ暗い深夜未明、日の出の約1時間前に阿里山駅から日の出列車（祝山線）に乗り、祝山駅へ。祝山駅を降りると、すぐ目の前が日の出の展望台になっています。祝山駅は現在の台湾最高地点の鉄道駅（標高2,451m）です。



## その他 阿里山その周辺の見どころ

### 阿里山高山茶の茶畑



阿里山はお茶の名産地。阿里山の高山茶は、気候や土壌に優れ、茶葉に甘みがあり、台湾一美味しいとも言われています。観光では主に「茶の南道」と呼ばれる石棹付近を見学することが多いですが、「茶の北道」の梅山～太平～碧湖付近の風景も有名です。

### 二延平歩道



標高約1,800mの遊歩道。阿里山の中腹になりますが、二延平歩道のある「隙頂」エリアは、温帯と亜熱帯が交差し、北回歸線エリアでもあります。竹林や茶畑、見晴らし台があり、季節や天候によりますが、雲海や、綺麗な夕景が鑑賞でき、カメラマンにも非常に人気のあるスポットです。

### 先住民族「ツォウ族」



阿里山の南側一帯には、ツォウ族の集落が多くあります。

阿里山公路沿いには、観光向けに伝統舞踊や文化を紹介する優遊吧斯(YUYUPAS)があり、ツォウ族の文化に触れることができます。